

施策目標に関する中長期的な達成目標と指標(24年度実績評価用)

政策目標2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり

施策目標(テーマ)	達成目標	主な成果指標(アウトカム)/活動指標(アウトプット)
3 青少年の健全育成 【担当課(関係課)】 スポーツ・青少年局 青少年課 【施策の概要】 児童生徒が心身ともに健やかで安全に成長していくことができるよう、学校・家庭・地域が連携して心身の健康と安全を守ることで体制の整備を推進するとともに、児童生徒が自らの心身の健康をはぐくみ、安全を確保することのできる基礎的な素養の育成を図る。	1 青少年の豊かな人間性を育むため、青少年が多様な体験活動を経験できる体制を整備し、体験活動の機会が増加する。	【成果指標(アウトカム)】 ① 学校以外の公的機関や民間団体等が行う自然体験に関する行事に参加した子ども(小学1年生～6年生)の割合(対前年度比) (22年度実績:-3.0%(51.7%)/目標:24年度・前年同～10%増) ----- 【活動指標(アウトプット)】 ② 自然体験活動指導者の養成人数(累計数) (23年度実績:16,808人/目標:24年度・20,000人)
	2 平成21年4月1日より施行されている「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」を踏まえ、青少年が携帯電話等をめぐる有害環境から守られる。	【成果指標(アウトカム)】 ① 青少年の携帯電話のフィルタリングの利用(%) (23年度実績:59.7%/目標:24年度・66.0%) ② 携帯電話・PHSを利用する際のルールを決めていない家庭(%) (23年度実績23.0%/目標:24年度・17.0%) ----- 【活動指標(アウトプット)】 ③ 青少年の有害環境対策における全国の普及啓発事業の累計実施数(箇所) (23年度までの実績:32箇所/目標:24年度:36箇所)
	3 国際化が進展する中、青少年自らが国際社会の一員であることを自覚し、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々と共生していく意識が高まる。	【成果指標(アウトカム)】※24年度以降 ① 事業に参加し交流を行った日本の青少年の外向き志向の増加率(0～10%増) ----- 【活動指標(アウトプット)】 ② 事業に参加し交流を行った日本の青少年の前年度比増加率 (23年度実績:401.6%/目標:24年度・0～10%増) ③ 青少年や青少年指導者に国際交流の機会を提供する事業数 (23年度実績:15件/目標:24年度・同数以上)
	4 地域における子どもの読書活動を推進するための環境を整備し、子どもが自主的に読書活動を行えるようになる。	【成果指標(アウトカム)】 ① 子どもの不読率の減少、1ヶ月の読書量の増加 (不読率 23年度実績:小学校6.2%、中学校16.2%、高等学校50.8% /目標:24年度・前年度より改善) (読書量 23年度実績:小学校9.9冊、中学校3.7冊、高等学校1.8冊 /目標:24年度・前年度より改善) ----- 【活動指標(アウトプット)】 ② 市町村における「子ども読書活動推進計画」の策定状況 (23年度実績:53.8%/目標:24年度・50%)

達成手段

達成手段 (事業・税制措置・諸会費等)	23年度当初予算額 (千円)	23年度補正予算額 (千円)	24年度当初予算額 (千円)	達成手段の概要	行政事業レビューシート番号	関連する指標	担当課
青少年の体験活動の推進	108,492	-	115,515	青少年の体験活動の推進を図るため、家庭や企業などへ体験活動の理解を求めていくための普及啓発に取り組むとともに、自然体験活動の指導者養成や防災教育の観点に立った青少年の体験活動等を推進する。	0331	1-①～②	青少年課
青少年の国際交流の推進～Road to Japan～	138,682	-	138,682	青少年国際交流推進事業、青少年教育施設を活用した国際交流事業、世界に雄飛するたくましい青少年を育む国際交流事業～ジョイン・イン・ジャンボリー～を実施する。	0332	3-①～③	青少年課
国立青少年教育施設の「新しい公共」型管理運営の試行経費	5,612	-	5,051	国立青少年教育施設に「新しい公共」の概念を踏まえた管理運営を導入するため、青少年団体、NPO、民間企業、大学、地方自治体等の多様な主体が施設の管理運営に参画するなど試行的な取り組みを行う。	0333	1-①～② 3-①～③ 4-①	青少年課
読書コミュニティ形成支援事業	43,500	-	39,150	新しい公共の担い手でもある読書ボランティアの普段の活動を尊重しつつ、自らの活動を通じた地域コミュニティづくりのための場や情報の提供を行い、子どもの読書活動のより一層の促進を図る。また、国民の間に広く子どもの読書活動について関心と理解を深め、子どもの読書活動を推進することを目的に、「子ども読書の日」を広く周知する。	0334	4-①～②	青少年課
青少年を取り巻く有害環境対策の推進	101,439	-	59,873	有害環境から青少年を守るため、保護者・青少年に直接働きかける啓発及び教育活動を総合的に推進する。	0335	2-①～③	青少年課

(参考)関連する独立行政法人の事業

事業	23年度当初予算額 (千円)	23年度補正予算額 (千円)	24年度当初予算額 (千円)	達成手段の概要	行政事業レビューシート 番号	関連する 指標	担当課
独立行政法人 国立青少年教育振興機構運営費交付金に必要な経費	9,478,518	-	9,322,578	文部科学大臣が定める中期目標を達成するため、法人が作成する中期計画に基づき、下記の業務を実施する。 ① 青少年教育指導者等に対する研修 ② 施設を青少年及び青少年教育指導者等の研修利用に供するとともに、当該研修利用に指導及び助言を行う ③ 青少年教育に関する関係機関・団体等との連携を促進する ④ 青少年教育に関する基礎的・専門的な調査及び研究を実施する ⑤ 青少年教育に関する団体が行う活動に対する助成金の交付を行う	0357	1-①~② 3-①~③ 4-①	青少年課
独立行政法人 国立青少年教育振興機構施設整備に必要な経費	57,000	291,645	200,000	中期目標に定める長期的視野に立った施設・設備の整備・管理の実施を達成するため、法人が作成する中期計画に基づき、施設・整備に係る下記の事項を実施する。 (1)施設・設備に関する保守・管理の長期的な計画を策定し、当該計画に基づく保守・管理を行うとともに、利用者が安心・安全に体験活動ができる環境の整備及び自然災害等への対応の観点から、必要な施設・設備の改善等を計画的に進める。 (2)利用者本位の快適な生活・研修環境の形成のための施設整備を進める。特に幼児・高齢者、身体障がい者等が円滑に施設及びサービスを利用できるよう、関係法令等を踏まえつつ、計画的な施設整備を進める。 ※第3次補正予算において、東日本大震災による被災施設等の復旧に係る事業を実施	0358 0359	1-①~② 3-①~③ 4-①	青少年課

〈修正のポイント〉

○達成目標2については、平成21年度から23年度までの実績値を考慮し、目標値を下方修正した。